

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 豊中市立第二中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒560-0056
大阪府豊中市宮山町2-1-1

E-mail t_dai2chu@tss.toyonaka-osa.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 244 名 女子 238 名 合計 482 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 大震災復興支援に関する取組み

・5年目になる東日本大震災支援、2年目になるネパール大震災支援、そして今年はさらに熊本大震災への支援活動を行う。

【1学期】

前期生徒会：5月 熊本大震災募金

朝のあいさつ運動時に、4日間全生徒へ呼びかけた。
約4万円集まり、日赤へ送る。

【2学期】

1年生：11月 ボランティア活動の一つのグループが昨年度より支援活動を続けている「ネパール大震災」への支援のための街頭募金活動を2日間行う。
約8万円集まり、支援活動をしている団体TIFAの海野バティさんを通して、ネパールの現地の被災地の復興に役立ててもらおう。事前学習も行った。

【3学期】

後期生徒会：昨年度に引き続き、PTA行事の時に、ネパール募金活動と冬服や文房具をネパールの子供たちに贈るための回収活動を行う。
現地の人制作している物品(帽子や手袋など)の販売等も行い、支援団体のTIFAへ送った。
事前にはどういう支援ができるのかバティさんと出会い、話を聞いた。

後期生徒会：気仙沼市立松岩中学校生徒会とのライブオンによるTV会議を行う。
昨年度来校した昨年度の生徒会長たちとの再会、両校の生徒会の取り組みや現状報告などの交流。

② 国際理解への取組み

【1年生】・1学期 国際理解教育を行う。イギリス、ネパール、インドネシア、中国、シンガポールの国々の在日の方から、自国のことを学び、自分たちが事前に調べ学習で学習したことを発表しながら、交流した。

【2年生】・2学期 キャリア教育の一環として、海外青年協力隊(JICA)で活躍されていた2人の方から「現地の様子」「外国で働くこと」などについてお話を聞く。

【全校生徒】・韓国の寶城福内中学校(全校生徒約100名)が来校。本校全生徒が歓迎のセレモニーと交流会を開き、放課後はクラブ交流をした。

【1年生】・2学期 ボランティア体験活動の1グループが「外国人支援」ということで、イランの方から、ペルシャ料理を教わり、交流する。
校区にある小学校の「国際教室」を訪問、「国際教室」の意味を先生から教わったり、そこに在籍する子供たちと交流をした。

③環境問題について

豊中市の環境部主催の「中学生環境ワークショップ」に約20名が参加した。豊中市の未来を環境問題から考えようというもので、市の職員から、豊中市の環境問題について教えてもらった後グループに分かれ、豊中市の環境をよくしていくために、自分たちに何ができるか考えた。最後に、自分たちで考えたことを発表しあい、交流を深めた。

豊中市や校区の意外と知らない環境問題について知ることができた。日頃生徒会がフィフティフィフティ事業という節水節電への取り組みを行っているが、それへの動機づけにもなった。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()